

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信

(NO.13)

2007.4.30

もくじ

1. 1 月 度 定期ボランティア活動・報告
＜ニホンジカ生息数調査＞
2. 2 月 度 定期ボランティア活動・報告
＜林道・歩道標識杭の調査＞
3. 3 月 度 臨時ボランティア活動・報告
＜ヘリコプター集材見学＞
4. 3 月 度 定期ボランティア活動・報告
＜平成 1 8 年度定期総会・演習林を歩こう＞
5. 5 月 度 定期ボランティア活動・募集案内
＜造林研修会&歩道標識杭の補修・整備＞
6. 6 月 度 定期ボランティア活動・募集案内
＜利用者説明会&歩道標識杭の補修整備＞

1 月 度 定期ボランティア活動・報告

～ニホンジカの生息数調査～

事務局 石川 輝雄



調査前の打ち合わせの様子

毎年恒例の千葉演習林におけるニホンジカの生息数調査が平成 1 9 年 1 月 1 1 日から 1 2 日までの 2 日間にわたっておこなわれ、ボランティア会 Abies としては村上、藤田（貴）、澤田さんと石川の 4 名が参加しました。その内、澤田さんは 1 2 日の日帰り参加です。ニホンジカの生息数調査は Abies の活動のなかでもかなり

ハードであり、今回が初参加の村上、澤田さんにとってはかなり大変であったとおもわれます。しかし、特に問題もなく無事にすみ、お二人とも満足されて帰られたので安心しました。



なお、都合で参加することができなくなりましたが、藤田（和）さんと山田さんが初参加の申込みがあり、事務局としては調整でうれしい悲鳴となりました。

今後の活動にも多くの方が自分の興味のある活動に参加してもらえたらよろしいと思います。

今回は村上さんに初参加の感想をのべてもらいました。

ボランティア 村上 雅彦

前々から興味を持っていたニホジシカの生息数調査に参加しました。しがないサラリーマンの身には2日間の休暇をとると言うことはなかなか難しいのですが、今回は意を決して参加しました。

朝、暗いうちに自宅を出、早朝に清澄作業所に着くと職員・他の団体の方や学生さん達が続々と集まってきました。これほどの大がかりで組織的な調査は未体験であり、期待の反面、大きな不安もありました。しかし一緒にペアを組んでくれる相手がAbies会員で、しかも今まで5～6回の参加経験を持つ藤田（貴）さんと聞いて不安は一気に解消です。

その後、主催者の山中先生より遭難・事故等の注意の他、テキパキと調査区割り・調査地への乗車割りの確認がなされ、この調査の計画性の高さを感じました。

藤田（貴）さんに促されてマイクロバスに乗り込み、午前中は担当地域の札郷地区の郷田倉付近へ、午後は清澄地区の一杯水林道の高天神付近へでかけました。そして午前の調査開始時間までに隣の調査区の山中先生と、登り道を一気に登り。さすがに息が上がりましたが、途中でシカの鳴き声を聞くことができ、癒されました。

調査開始時間になり、登山道からはずれて地図上の尾根の木々を伝いながら進んで見通しの良いところを選び、尾根の左右を分かれて15分～20分無言での観察。時々聞こえるカラスたちの声の他は、ちょっと動くたびにパキパキと枝を踏みしだく自分の立てる音の大きさに驚きながら、じっと待機しました。しかし残念ながらシカの姿は見え、行きの倍の時間をかけ元の登山道に戻りました。

次の尾根を探し、また観察。これを繰り返し、あっという間に調査時間90分が経ちました。マイクロバス集合場所まで移動し、昼食は札郷作業所で暖かいみそ汁を頂き、休む間もなく午後の調査地へでかけます。

今回の担当地区は比較的楽なところで、天気にも恵まれ快適な2日間を過ごすことができました。また、途中では藤田（貴）さんから色々な経験談を聞くことができ、勉強にもなりました。残念ながら、シカや他の動物には遭遇できませんでしたが、調査の一端を担

うことができたことで大満足です。

他の演習林の職員やいろいろな団体がこの調査のために集まっていて、皆さんの熱意を感じ、来年も参加したいけどどうしようか？ また2日も休暇が取れるかな？と今から悩んでおります。初めての経験でしたが、非常に楽しい経験でした。皆様に大変お世話になりました。どうもありがとうございました。

2 月度 定期ボランティア活動・報告

～ 林道・歩道標識杭の調査～

ボランティア 石川 輝雄

2 月度 定期ボランティア活動が2月8日、9日に行われ、8日は恵、相川さんと石川が9日は西山、恵、白石夫妻と石川が参加しました。今回は新しい活動である林道・歩道標識杭の整備に関して今後の進め方の検討と予備調査を行いました。



歩道杭の調査風景

* 2月8日 午前中 検討会

- ・ 林相図で標識杭の表示のあるところの整備を先行しておこない、無いところの設置に作業を拡げていく。(2015年頃の林相図の次回改定までには完全に整備したい)
- ・ 千葉演習林ボランティア会 Abies (略 Abies) と NPO 法人野生生物調査会 (NPO) の担当区分の決定: Abies の担当は主要林道主体、NPO は歩道主体とする。
- ・ 杭の作成準備 (標識記号 NO. の刻印) は Abies が担当する。
- ・ 野帳 (報告用紙) の書式の検討 午後実際のコースを歩いて記入してみる。

* 2月8日 午後 予備調査 (1)

相川、恵さんと石川

- ・ コース 郷台林道の元清澄山への分岐 (東ノ沢ゲ



沢に降りる急な歩道

ート) 三石歩道(A0~A7) 5・11 林班界歩道(D0~D12) 仲ノ沢歩道(D13~D18) 猪ノ川林道 郷台作業所

- ・状 況 このコースは、後半の郷台作業所の近くは谷が険しく、歩道杭だけでなく、歩道もわかりにくい状況であった。このような場所については、単に歩道杭を整備するだけでなく、歩道自身の補修整備が必要と思われます。

* 2月9日 調査(2) 西山、白石ご夫婦、恵さんと石川

- ・コース 七里川温泉裏 穴場歩道(N0~N9) 郷田倉上歩道(N9~N14) 石尊歩道(N14~N65) 麻綿原歩道(N65~N71) 一杯水林道 清澄作業所

- ・状 況 このコースはハイキングコースとしても紹介されているコースで歩道は整備されている。演習林を歩こうの候補コース。快適に歩ける。

途中、歩道脇に^{もみたらう}縦太郎、^{もみじろう}縦二郎と名付けられた大木がある。

杭は後半(N66~N71)が紛失している。



縦太郎

3 月度 臨時ボランティア活動・報告

~ヘリコプター集材見学~

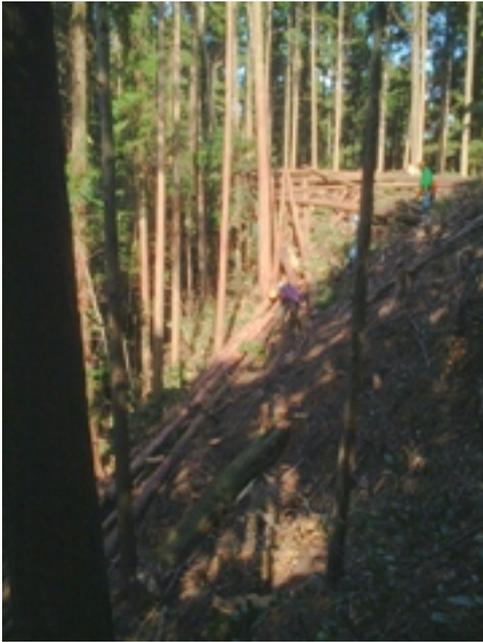


ボランティア 岩崎 寿一

3月12日に行われたヘリコプターによる集材作業の見学に石川、岩崎の二人が参加しました。当日は3月にしては寒い日でしたが、青空に白い雲が浮かぶ晴天となりました。

集材作業の内容は次のとおりです。

- ・場 所 女滝3 8 林班C 7 小班で積み込み林道松森線土場(県の土場)へ搬出
- ・樹 材 ヒノキ(樹齢103年)
- ・玉 数 70玉(2本吊もあるので約60往復)



伐採現場

職員の村川さん運転の車で山田林長、石川さんと岩崎が集材個所に向かいました。

一杯水林道の梨ノ木台手前で車を降り、長尾林道を歩き出すと、30分程歩いた所で上空からヘリコプターの爆音が聞こえてきました。

既に集材作業は始まっておりました。積み込み現場はやせ尾根で、すでにヒノキ材は伐採され、急斜面に折り重なるように置かれていました。周りには切られずに残った20メートル以上の樹高のヒノキがぐるりと取り囲んでいて思いの他狭い空間です。

やがて上空にヘリコプターが現れて、徐々に先端にフックのついた30メートル程のロープを吊り下げたまま降下してきます。何処へ下ろすかはヘリコプターの窓からロープの誘導員が半身を

のりだすようにして下を見ながらパイロットに運転の指示をしています。下では危険防止のために蛍光色のオレンジまたはグリーンが目立つジャンパーを着た職員2人が材の端にワイヤーをかけるため準備しています。

ロープの先端が降りてくるとその先のフックにワイヤーを掛け、すばやく安全な所まで待避します。すると徐々にヘリコプターは上昇し、ロープに引かれた材木はたちあがって垂直になります。この時、少し離れているところで見ていたのですが、材木が回転すると爆音やすごい風でかなりの迫力です。また材木が周囲のヒノキの枝にひっかかりそうになるので少しひやひやします。この積み込み作業時間は20秒程です。やがてヘリコプターは丸太を吊り下げ青空の中へ消えていきました。5分程で戻ってきたので早いのに驚きました。

お昼近くなりましたので、今朝来た道に戻って、清澄宿舎で昼食をとりました。

午後は再び村川さんの車の運転で郷台林道をとおり、鴨川方面へ下る林道松森線を下り、途中にある県の土場(グラウンドのような広場)へ向かいます。土場で材木を下ろす作業を見学します。やがて遠くから爆音が生じて、材を吊ったヘリコプターが飛んできます。飛行



土場に運ばれたヒノキ丸太

機が着陸する様に横に下りてきて材の下端が地面に着いた瞬間にワイヤーのフックを開いて落下させます。下ろす時には人の補助はいりませんので、そのまま元に戻っていきます。

着地した材木は大きなフォークリフトで隅に片付けられ次を待ちます。この繰り返しです。1トンを越えるような重さの材木が地面に着地するのは結構迫力があります。

ヘリコプターによる集材作業は思っていた以上のスピードで行われました。山奥からの材木の切り出しがこんなに簡単にしかも効率よく出来るとは驚きです。採算を考えると、簡単には採用できないだろうと思いますが、今後とも検討するに値するメリットがあるだろうと思います。

従来の方法との比較などについて色々な面から考察されることと思いますので、楽しみにしています。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

3 月度 定期ボランティア活動・報告

～平成18年度定期総会・演習林を歩こう～

事務局 石川 輝雄

3月1日に開催した平成18年度の定期総会は、翌日の“演習林を歩こう”の参加者も含めて延べ14名の参加をいただき、無事終了することができました。

協力いただきました Abies 会員の皆様に感謝します。

平成19年度も色々な活動を企画・案内しますので、ぜひ参加ください。

事務局としては毎回、参加することは無理にしても、何らかの活動に全員が1回は参加できたらいいかなと考えています。

今年から、会員でない方も会員の紹介と一緒に参加できる“体験参加”という制度をつくりました。友人など誘って参加をすすめてください。

今回は藻寄さんご夫婦に“演習林を歩こう”に参加した感想を書いてもらいました。



麻綿原天拝園での集合写真

ボランティア 藻寄 栄一・澄江

私たちは3月18日におこなわれた“演習林を歩こう”に夫婦で参加いたしました。北

風こそ強いものの、雲ひとつない快晴で、途中の道路はさほど混んでおらず習志野の自宅を6時50分に出発し京葉道 館山道 県道24号線 国道410号線 県道81線で9時前に清澄作業所に到着しました。

初めて訪れました場所ですが静かなたたずまいで歴史を感じさせ、かつ眺望抜群で良い場所でした。

今回は自然観察をしながら“演習林を歩こう”という趣旨で参加者全員に今日歩くコースの詳細な地図と“千葉演習林の生き物観察記録”が配布されました。

コースは仙石林道 平塚歩道 麻綿原歩道 一杯水林道 清澄作業所です。行きは清澄寺大門の前の演習林バス停から参加者全員がヘルメット姿で小型の日東交通バスに乗り終点の千石バス停まで行き、仙石林道に向かって歩きはじめました。



すぐに会員の皆様がいかに演習林に精通している方々で驚くばかりでしたが、皆様に教えられたとおり周りを観察してみると普段であれば何気なく通り過ぎてしまうようなところにも四季折々に色々な生き物の命が競っている、という当たり前のことを改めて感じた次第でした。

大きな葉の陰にひっそりと咲いているカンアオイの茶色の花、大きな草に隠れるように咲いている空色の可憐なコケリンドウ、崖のわずかな隙間に群生する忘れな草に似ている妖艶なヤマドリソウなど各々はほんとうに小さな花たちですがこれらの花々に魅了されてしまいました。

尾根筋では体が揺れるほどの北風を受けましたが、木陰に入れば木々をわたる風の音さえ聞こえない静寂に包まれ、時々練習不足のウグイスの鳴き声を聞きながら房総の春を十分堪能いたしました。



ヤマドリソウ

清澄寺の近くで罾にかかって動けないでいるシカに遭遇しました。スギやヒノキの苗などを食べて植生に大きな影響を与えることやヤマビルを脚につけて運ぶことを知り、人との共生の道を及ばずながら考えていきたいと思えます。

皆様に教えて頂きながらですが様々な観察と感動をすることが出来、また

畏に掛かった鹿という衝撃的な出来事にも出会えました。大変収穫の多い、かつ楽しい活動で、企画していただき当日も色々教えていただいた会員と演習林の皆さんに感謝します。

5 月度 定期ボランティア活動・募集案内

～ 造林研修会 & 歩道標識杭の補修整備 ～

5 月度の定期ボランティア活動は造林研修会の聴講と歩道標識杭の補修整備活動をおこないます。特に造林研修会は演習林で行っている研究活動を知る良い機会でもありますので多くの参加を希望します。21日または22日のみの日帰り参加もできますので、この場合はその旨を添えて申し込みください。

<u>日 時</u>	平成19年 5月21日 (月) ~ 22日 (火) (宿泊)
<u>集 合</u>	清澄作業所 21日 9:00 (22日のみの日帰り参加の場合も9:00)
<u>解 散</u>	清澄作業所 22日 16:00頃
<u>内 容</u>	* 5月21日 午前 造林研修会 清澄講義室 * 5月21日 午後 歩道標識杭の準備 (番号を焼き印で表記する作業) * 5月22日 歩道標識杭の現場への設置作業 (麻綿原N65 ~ N71、他の予定)
<u>人 数</u>	9名 原則として先着順
<u>宿泊場所</u>	清澄学生宿舎 (04-7094-1990)
<u>参加費</u>	2,240円 宿泊費 (夕食・朝食・2日目 弁当含む) 日帰り参加の場合は不要。昼食はお持ち下さい。
<u>持 ち 物</u>	筆記用具、弁当 (1日目のみ)、野外活動ができる服装、靴 (登山靴などしっかりしたものや地下足袋)、滑り止めつき軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証のコピー、常備薬、会員証、宿泊用持ち物など
<u>雨天時</u>	状況により対応
<u>受付期間</u>	平成19年5月1日 (火) ~ 5月14日 (月)
<u>申込方法</u>	電話、FAX、E-Mail のいずれかで申し込みください。 参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。 参加する当日に継続登録料1,000円を納めることも可能です。

申込み・問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛

6 月度 定期ボランティア活動・募集案内

～ 利用者説明会 & 歩道標識杭の補修整備 ～

6 月度の定期ボランティア活動は千葉演習林利用者説明会の聴講と歩道標識杭の補修整備活動をおこないます。5 月の造林研修会は千葉演習林の職員の研究発表会ですが、今回の利用者説明会は千葉演習林を利用して調査・研究をされている方々の発表・説明会です。いずれも演習林で行っている研究活動を知る良い機会でもありますので多くの参加を希望します。19 日または 20 日のみの日帰り参加もできますので、この場合はその旨を添えて申し込みください。

日 時	平成 19 年 6 月 19 日 (火) ~ 20 日 (水) (宿泊)	
集 合	清澄作業所	19 日 10:00 (20 日の日帰り参加の場合は 9:00)
解 散	清澄作業所	20 日 16:00 頃
内 容	* 6 月 19 日	
	・利用者説明会	10:00 ~ 17:00 清澄講義室
	・懇親会	清澄学生宿舎
	・宿 泊	清澄学生宿舎
	* 6 月 20 日	
	・演習林見学会	9:00 ~ 12:00
	・歩道標識杭の準備作業他	13:00 ~ 16:00 頃

人 数 9 名 原則として先着順

宿泊場所 清澄学生宿舎 (04-7094-1990)

参加費 * フル参加 3,000 円
(予定) * 懇親会まで 1,500 円
* 利用者説明会または 20 日のみ参加 無料

持 ち 物 筆記用具、弁当 (1 日目のみ) 野外活動ができる服装、靴 (登山靴などしっかりしたものや地下足袋)、滑り止めつき軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証のコピー、常備薬、会員証、宿泊用持ち物など

受付期間 平成 19 年 5 月 25 日 (金) ~ 6 月 5 日 (火)

申込方法 電話、FAX、E-Mail のいずれかで申し込みください。

A : フル参加、B : 懇親会まで、C : 利用者説明会のみ、D : 20 日のみを明記してください。

参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。

申込み・問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛



=====

千葉演習林ボランティア会 Abies通信 No.13 2007/ 4/30 発行
*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3 - 1 - 2 - 102

石川輝雄

*東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770
TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321